

第114期 事業のご報告

# 株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日

株式会社 橋本チエン

証券コード | 6371

## 「中期経営計画2025」の到達点を見据え、成長戦略の展開を推進してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

### 2023年度の連結業績について

2023年度の連結業績は、売上高2,668億12百万円、営業利益212億62百万円(営業利益率8.0%)となりました。

米国経済が底堅く推移した一方で、欧州経済の金融引き締め影響による内需抑制、中国経済の回復遅延に加え、中東の地政学リスクの高まりもあり、世界経済は弱含みでの推移となりましたが、チェーン事業の好調や、半導体不足解消に伴うモビリティ事業の持ち直し等により、当社業績は前期比6.1%の増収となりました。営業利益も同12.0%の増益となり、売上高営業利益率は8.0%と前期より0.5ポイント上昇しました。

売上高	2,668億12百万円 (前期比 +6.1%)
営業利益	212億62百万円 (同 +12.0%)
経常利益	234億50百万円 (同 +11.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	185億51百万円 (同 +35.0%)

### 2024年度の連結業績予想について

2024年度の連結業績予想については、下表のとおりといたしました。

売上高	2,800億円 (前期比 +4.9%)
営業利益	230億円 (同 +8.2%)
経常利益	240億円 (同 +2.3%)
親会社株主に帰属する当期純利益	220億円 (同 +18.6%)

世界経済は、今後も不透明な状況で推移するものと予想されますが、当社グループは「長期ビジョン2030」に掲げた「2030年のありたい姿」および2021年度よりスタートさせた「中期経営計画2025」の到達点を見据え、意思決定の迅速化によるスピード経営を目指すとともに、資本コストを意識した各種施策の展開に注力してまいります。また、今後も社会課題の解決に貢献する企業グループとして、サステナビリティ活動のさらなる推進に取り組んでまいりますので、株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役会長  
兼 CEO  
古世 憲二

代表取締役社長  
兼 COO  
木村 隆利



# 発展著しい環インド洋地域における 事業拡大を推進

1981年設立のTsubakimoto Singapore Pte. Ltd.(以下、TSL)は、さらなる経済成長が期待される環インド洋地域での事業拡大に注力しています。今回は、TSLとその子会社2社(PT. Tsubaki Indonesia Manufacturing:インドネシア、Tsubakimoto Philippines Corporation:フィリピン)を紹介します。

## トップメッセージ

TSLグループ(TSLとその子会社)は、アセアンとインドの7カ国、計8つの会社で構成されています。この地域は、今後も継続的な経済成長が見込める市場であり、TSLグループは、つばきブランドの浸透に注力しています。

たとえば、地域ごとの産業に合わせた製品やソリューションの提供。環インド洋の市場には自動車、鉱業、食品加工、港湾など、様々な産業がありますが、TSLグループは、これらの異なるセクターに最適な製品やサービスを提供しています。また、現地でのサポートやアフターサービスを求めるお客様をサポートするため、代理店や販売パートナー、ローカルエンジニアリング会社との強力なネットワークを構築しています。

TSLグループは、それぞれの地域に密着したビジネスネットワークを通じて、お客様のニーズに迅速かつ的確に対応し、つばきグループの「中期経営計画2025」達成に寄与していきます。



TSL  
代表取締役社長  
河合 健二

○ TSL子会社所在地

TSL

シンガポール

## Tsubakimoto Singapore Pte. Ltd.

1975年に駐在員事務所としてスタートし、1981年に現地法人化されたTSL。タイ、インド、マレーシア、ベトナム、フィリピン、インドネシアに7社の子会社を有し、オセアニアを除く環インド洋地域で事業活動を展開しています。TSLがターゲットとする業界は自動車、セメント、マイニング、港湾、鉄鋼、製油(パーム油)、食品(乾麺)、衛生用品など。TSLグループ各社が持つ強みを生かし、地域特性に合わせた営業活動により、つばき製品の拡販に取り組んでいます。



## TSLのここが自慢です!

TSLはシンガポールの西部地区にあり、工業地帯の中心に位置しています。従業員は会社のすぐ向かいにある食堂でランチやティータイムを楽しんでいるほか、仕事帰りに食事会や懇親会も実施します。オフタイムを皆で楽しむことで、業務面でも生産性向上、集中力アップに加え、部署間や上司・部下の距離が縮まるなど、いい効果を発揮しています。



TINM

インドネシア

## PT. Tsubaki Indonesia Manufacturing



Ghufirwam Abdi  
Matehan Division  
Senior General Manager

TINMは2012年9月に、成長が期待される環インド洋地域のマテハンビジネス拡大を目的に、インドネシアに製造子会社として設立されました。2016年には自社工場を立ち上げ、自動車、食品、化粧品業界向けなど、多岐にわたる業界のお客様へマテハン商品を提供しています。今後は製品の販売にとどまらず、コンサルティングからエンジニアリング、設計、製作、据付、試運転、メンテナンスまで一貫したサービスを提供することで、競争力を高めていきます。

### TINMのここが自慢です！

東南アジアの各国では、福利厚生として社員旅行や懇親パーティが盛んです。先日はTSLグループの他子会社との事業再編にあたり、決起イベントを開催しました。社員が互いを知り、親睦を深めるだけでなく、会社の発展に向けた目標を共有することで、モチベーションアップに繋がっています。

#### ちょっと寄り道

工場所在地のカラワン工業地帯のそばには、外見が日本の焼き鳥に似た「サテ」と呼ばれる伝統的な食事を提供する店があります。ここで最も有名なサテは地元のヤギ肉から作られる「サテ・マランギ」。コリアンダーなどの香辛料で作ったタレに漬けこみ、串に刺して炭火でじっくり焼いたサテは絶品です。インドネシアに来た際は是非ご賞味ください。



Quino Abalos  
General Manager



TPHC

フィリピン

## Tsubakimoto Philippines Corporation

2016年12月に設立されたTPHCは、自動車、セメント、鉱業、麺類を重点業界とし、日系カーメーカーやセメントメーカー、現地の食品会社などのお客様に様々なサービスを提供しています。メンテナンス・セミナーや生産ラインの総点検、トラブルシューティングなどのサービス（プロサービス）を提供できる現地で唯一のチェーンメーカーであるという強みを生かし、今後もビジネス拡大に向け取り組んでいきます。

### TPHCのここが自慢です！

TPHCは従業員の平均年齢が32歳と、非常に若く活気のある会社です。社内にあるミニ・バンタリー・エリアでは、昼休みに皆で食事をしたり、ボードゲームをしたりするなどして親交を深めています。アットホームな職場の雰囲気は、日々の業務で高いパフォーマンスを発揮するために不可欠です。



#### ちょっと寄り道



会社所在地から車で30分ほどのところに、芝生と噴水が美しいリサル公園があります。敷地は広大で、一部には日本庭園も。園内にはフィリピンの国民的英雄「ホセ・リサル記念像」があり、記念碑の下にリサルが埋葬されています。ロハス大通りを挟む海側の部分は三日月（ルネタ）の形をしているため、別名「ルネタパーク」とも呼ばれ、日中は家族連れで賑わう憩いの場です。

# チェーン事業

## 産業用スチールチェーンは世界シェアNo.1

モノが動くところに「チェーン」あり。国内外の様々な産業向けに、世界シェアNo.1の産業用スチールチェーンをはじめとした約2万種類のラインアップから生産性向上、省エネ、環境改善に繋がる最適なチェーンを最高の品質でお届けしています。

### 【主要商品】

ドライブチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット、ケーブル・ホース支持案内装置など

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比\*1

34.6%

売上高\*2/営業利益率



# モーションコントロール事業

## 減速機、直線作動機などの豊富な商品群

「Motion & Control」の分野で、独自の複合化技術と豊富な品揃えを生かし、産業機械の複雑な動きを精密にコントロールするモーションコントロール商品群。舞台の昇降装置や立体駐車場、アーケードの屋根開閉、風力発電や駅ホームの可動柵など、様々な「動かす」ニーズに的確にお応えしています。

### 【主要商品】

減速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチ、電気式制御機器など

セグメント別売上高構成比\*1

8.3%

売上高\*2/営業利益率



### 2023年度の概況

チェーンにつきましては、日本、欧州、環インド洋において販売が増加したことや、円安影響等により、前期比で増収となりました。モーションコントロールにつきましては、米州、環インド洋において販売が増加した一方、日本や中国での販売が減少したことなどにより、前期比で減収となりました。

専務執行役員  
パワトラ事業統括  
永井 康詞



# モビリティ事業

## エンジンの高性能化を支える タイミングチェーンシステム

自動車エンジンの高性能化、エコ化に寄与するタイミングチェーンシステムは、国内68%、世界40%とトップシェア。その技術と品質は、世界の自動車メーカーから高い信頼を獲得しています。また、EVやe-Bikeなど次世代モビリティの分野でも、エネルギーロス・CO<sub>2</sub>排出量削減への貢献を目指しています。

### 【主要商品】

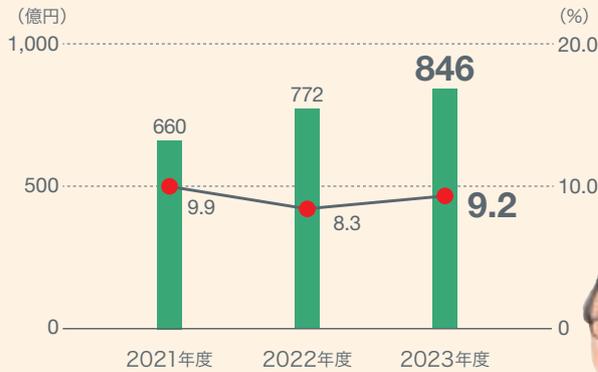
タイミングチェーン、テンショナ、ガイド、レバー、スプロケット、トランスファーケース用チェーン、車載用クラッチなど

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比\*1

31.7%

売上高\*2/営業利益率



### 2023年度の概況

日本、米州、欧州、韓国などの拠点において自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が増加したことなどにより、前期比で増収となりました。



常務執行役員  
モビリティ事業統括  
佐藤 功

# マテハン事業

## 生産性向上に寄与する ソリューションを提供

物流センターにおける自動仕分け装置は、国内シェア70%超。超低温自動保管庫「つばきラボストック®」は、創薬やDNAなどの研究に寄与しています。その他、自動車塗装ライン搬送設備や粉粒体搬送コンベヤなど、お客様の生産性向上、環境負荷低減に寄与するソリューションを提供しています。

### 【主要商品】

物流業界向けシステム、自動車業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなど

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比\*1

24.5%

売上高\*2/営業利益率



### 2023年度の概況

米州における金属切屑搬送・クーラント処理装置や自動車業界向けシステムの販売が増加したことなどにより、前期比で増収となりました。

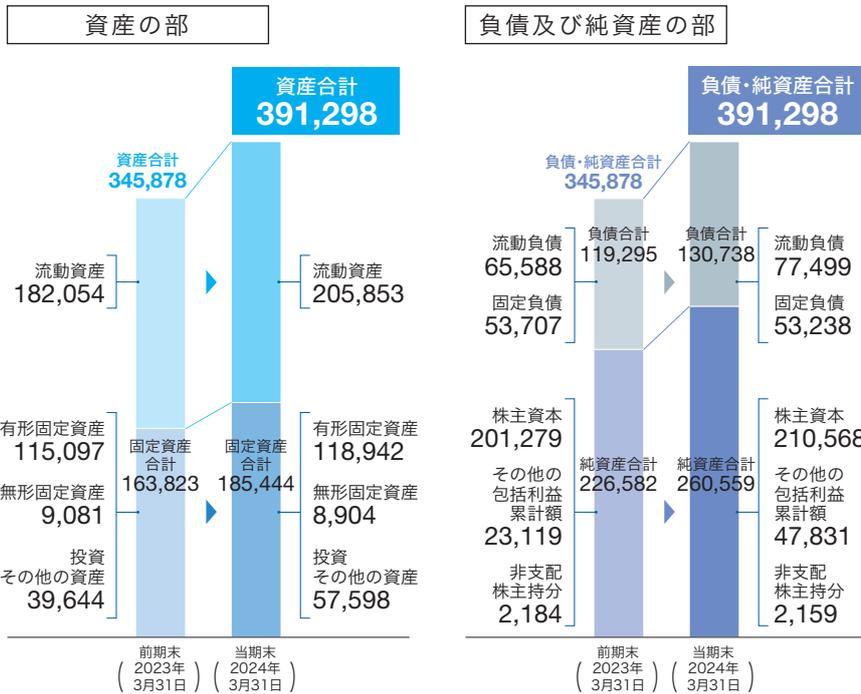
常務執行役員  
マテハン事業統括  
岡本 雅文



\*1 セグメント別売上高構成比は「外部顧客に対する売上高」を基準に算出しています。  
\*2 売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

連結貸借対照表の概要

(百万円)



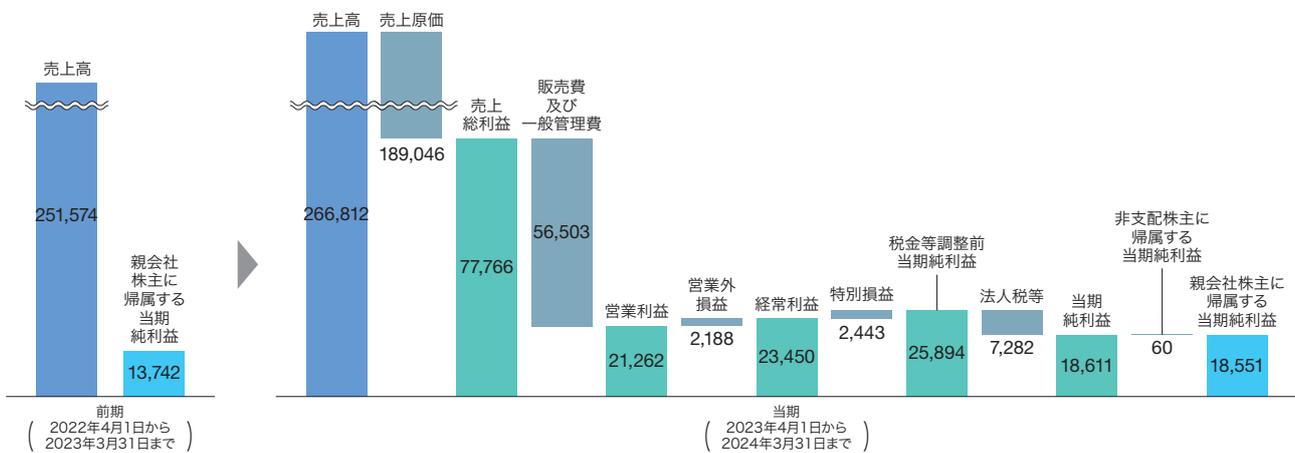
さらに詳しい財務データは、  
当社ホームページの  
「IRライブラリ」をご覧ください。

ツバキモト IR 検索

<https://www.tsubakimoto.jp/ir/library/>

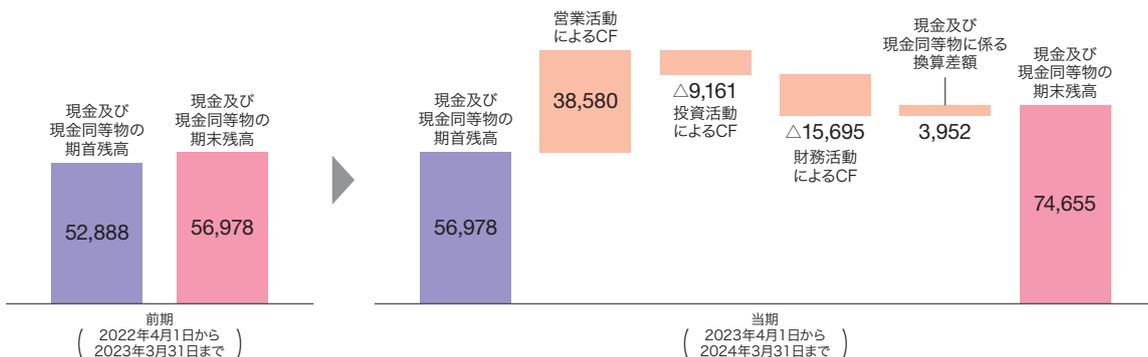
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



2024年  
5月

## 株式分割および株主優待制度 「樫本チエイン・プレミアム優待倶楽部」の拡充を決定

当社は、5月14日開催の取締役会において、投資単位あたりの金額を引き下げることにより、投資しやすい環境を整えることを目的に、2024年9月30日(月曜日)を基準日として、当社普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割することを決議いたしました。

株式分割に伴い、2021年4月に導入した「樫本チエイン・プレミアム優待倶楽部」についても、株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、内容を変更(拡充)することといたしました。

見直しの主な概要は、①優待対象となる株主様の拡大、②保有単元ごとの付与ポイント数の変更、③最大付与ポイントの引き上げとなります。なお、長期保有ポイントについては、この度の制度拡充に伴い廃止することといたしました。

新しい優待制度の適用は、2025年3月末日に当社株式を500株以上保有する株主様が対象となりますので、ご注意ください。

この機会にぜひ、当社株式の買い増し等をご検討ください。

(詳細は、WEBサイト「樫本チエイン・プレミアム優待倶楽部」をご覧ください)

### 株主優待 新ポイント表(1ポイント≒1円)2025年3月末スタート

保有株式数	進呈ポイント
500株～599株	5,000 ポイント
600株～699株	6,000 ポイント
700株～799株	7,000 ポイント
800株～899株	8,000 ポイント
900株～999株	9,000 ポイント
1,000株～1,999株	20,000 ポイント
2,000株～2,999株	30,000 ポイント
3,000株以上	40,000 ポイント

(注)長期保有ポイントは廃止といたします。

#### 進呈条件

2025年以降、毎年3月末日の株主名簿に記載又は記録された5単元(500株)以上保有の株主様を対象といたします。

#### 繰越条件

翌年3月末日において株主名簿に同一株主番号で連続して5単元(500株)以上保有する株主様として記載された場合にのみ繰越せま(1回のみ)。3月末日の権利確定日までに株主番号が変更された場合、ポイントは失効いたします。

### ご参考:株主優待制度の新旧対照表

株式分割前		株式分割後		進呈ポイント増減
保有株式数	進呈ポイント	保有株式数	進呈ポイント	
200株	0ポイント	600株	6,000ポイント	+6,000ポイント
300株	5,000ポイント	900株	9,000ポイント	+4,000ポイント
1,000株	20,000ポイント	3,000株	40,000ポイント	+20,000ポイント

(注1)2024年3月末日の株主名簿に記載された株主様を対象に進呈した株主優待ポイントの繰越についても、2025年3月末日時点で5単元(500株)以上保有していることが条件となります。

「樫本チエイン・プレミアム優待倶楽部」  
に関するご質問・お問い合わせ

#### 樫本チエイン・プレミアム優待倶楽部 ヘルプデスク

TEL 0120-980-965  
受付時間 午前9時～午後5時(土・日・祝日を除く)



### つばきのサステナビリティ

## 「健康経営優良法人 2024」に認定

健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康維持・増進について、経営的な視点から考え、戦略的に実践している大企業や中小企業を顕彰する制度で、経済産業省が創設、日本健康会議<sup>\*</sup>が認定しています。

従業員が心身ともに健康になることで、従業員の活力向上、生産性の向上、ひいては組織の活性化に繋がります。今後もつばきグループ健康宣言のもと、従業員とその家族の健康増進に向けて積極的に取り組んでまいります。

<sup>\*</sup>日本健康会議 国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体



## 会社概要

商号 株式会社椿本チエイン  
 本店所在地 大阪市北区中之島3丁目3番3号  
 設立年月日 1941年(昭和16年)1月31日  
 資本金 17,076百万円  
 工場 京田辺、埼玉、長岡京、兵庫、岡山  
 支社 東京、名古屋、大阪、DX・IT池袋ベース  
 営業所 大宮、豊田、大阪北、広島、九州  
 関係会社 連結子会社：65社 非連結子会社：9社  
 関連会社：8社(うち、持分法適用関連会社2社)  
 従業員数 連結8,750名 単体3,034名  
 (従業員数には契約社員、パート、アルバイトを含んでおります。)

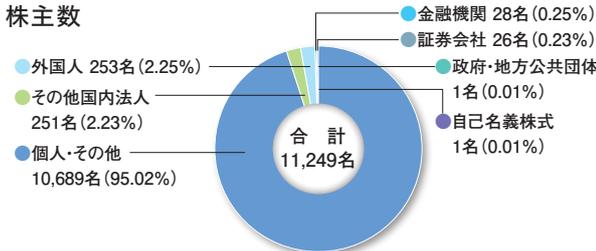
## 役員 (2024年6月27日現在)

代表取締役会長兼CEO	古世 憲二	上席執行役員	Kevin Richard Powers
代表取締役社長兼COO	木村 隆利	上席執行役員	揚田 利浩
取締役	宮地 正樹	上席執行役員	石田 裕美
取締役	安藤 圭一(※1)	上席執行役員	堺和 伸光
取締役	北山 久恵(※1)	上席執行役員	丹山 太
取締役	谷所 敬(※1)	上席執行役員	川上 修
常勤監査役	田中 浩司	上席執行役員	明坂 泰宏
常勤監査役	川崎 加寸也	上席執行役員	前田 隆雄
監査役	内藤 秀文(※2)	執行役員	熊倉 淳
監査役	川崎 清隆(※2)	執行役員	藤村 昌由
専務執行役員	永井 康詞	執行役員	中久保 克也
常務執行役員	中村 一智	執行役員	佐伯 充史
常務執行役員	西井 久雄	執行役員	吉村 信彦
常務執行役員	岡本 雅文		
常務執行役員	佐藤 功		

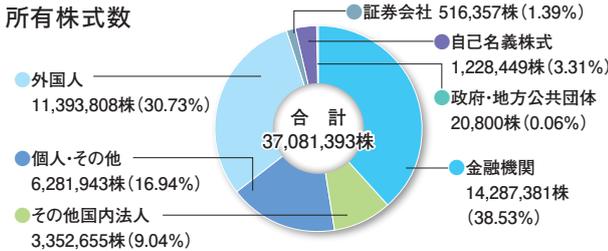
(※1)取締役のうち安藤圭一氏、北山久恵氏および谷所敬氏は社外取締役です。  
 (※2)監査役のうち内藤秀文氏および川崎清隆氏は社外監査役です。

## 株式の所有者別分布状況

### 株主数



### 所有株式数



## 株主の皆様へのお知らせ

### 各種手続のお申出先

- 住所変更、配当金の受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 (上記、電話照会先をご参照ください。)

## 株式の状況

発行可能株式総数 59,800,000株  
 発行済株式の総数 37,081,393株  
 株主数 11,249名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,849千株	10.74%
太陽生命保険株式会社	3,203	8.94
椿本チエイン 持株共栄会	1,629	4.55
日本生命保険相互会社	1,379	3.85
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,341	3.74
椿本興業株式会社	1,158	3.23
株式会社三井住友銀行	1,000	2.79
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	709	1.98
株式会社りそな銀行	667	1.86
GOVERNMENT OF NORWAY	651	1.82

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 当社は、自己株式1,228,449株を所有しておりますが、上記大株主には含めておりません。  
 3. 持株比率は、自己株式1,228,449株を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間9:00~17:00(土・日・休日を除く) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに掲載 (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載)

### 特別口座について

株券電子化の手続(証券会社の預け入れ)が済んでいない株式は、特別口座にて管理されています。特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、株式の売却の際は、あらかじめ証券会社の口座へ振り替えておく必要があります。詳細は、三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

### 未払配当金の支払について

三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。